外国語活動学習指導案

学校名　竹原市立吉名学園
指導者　T1　中　野　　愛
　　T2　有　松　　浩　司
　　ALT　Garrett Wilson

単元名　I like my town.　We can!2　Unit4
～Ben 先生に手紙を書こう「吉名の良さと私の願い」～
学　年　第６学年（15 名）

1　単元について

【単元観】

本単元では，本年度９月から竹原市に赴任された１人の ALT に地域のことを紹介する手紙を書くことをゴールに設定した。その ALT は竹原市の他校に勤務しており，吉名についてあまり知らない状況である。そこで，より吉名ことを知りたいという ALT の要望を受け，手紙で地域を紹介したり，逆に ALT に質問したりする。「書くこと」に相手・目的意識をもたせることで，手紙で適切に伝えたい，返事をもらいたいという思いを高めることができる。なお，児童は１学期から総合的な学習の時間で地域学習を続けてきており，地域の良さに目を向けやすく，関心も高い。

取り扱う主な英語表現は，まず“We have/don’t have ~.”“I want ~.”である。新出の主語“We”と既習の“I”とを意味を考えて使い分ける力が必要となる。さらに“Your idea is good!”といった感想を伝える英語表現も取り扱う。話し手の願いに応じて，聞き手が感想と理由を伝えることで，友だちの思いをまずは肯定して良い点を考える場が生まれる。友だち同士で地域のことについてやり取りする中で，会話を続ける１つの手段としても慣れ親しませたい表現である。

本単元では，地域を話題に友だちとやり取りしたことを活かして，事実や自分の願いを書いて伝える力をつけることが期待できる。

【児童観】

９月に行った外国語活動のアンケート結果から，「話すこと」「書くこと」に関する次の２項目を取りあげた。

①「英語でやり取りや発表をする時には，自分の考えや気持ちを伝えている」については肯定的評価は 100％であった。児童はこれまでの外国語活動の学習を通して，場に応じて自分の考えを必ず伝え，相手に反応・質問することで会話を続けることに慣れてきたと言える。ただ，これまでは予め自分の考えをもった上で話すことは多かったが，その場で考えて，感想とその理由を伝えるといった活動は初めてである。やり取りする友だちが代わるなかで，質問ではなく，話し手への感想の伝え方に難しさを感じるであろう。

②「英語を書く時には，単語を並べる順番を考えながら書いている」についても，肯定的評価は 100％であった。児童は例を見ながら単語や文を書き写したり，適切な語を選んで書いたりすることに多く取り組んできた。一方，語順を中心とした書く活動は児童にとってあまり経験はなく，語順の大切さや日本語との違いを理解しているとまでは言い難い。

よって，話し手の話題に関連させ，理由をつけて感想を伝えること，語順の大切さを知り，共通点を意識して書くことに児童はまだ慣れていないと言える。

【指導観】

指導に当たっては，次の２点に留意する。

１点目は，話し手が伝えた願い「地域にはないが，あって欲しい施設や行事」に対して，聞き手は必ず感想を伝えるようにする。 本単元では，相手の思いをまずは受け止め，その良さを見つけて会話を続けることを大切にしたい。そこで“ Your idea is ～.“といった肯定的感想に続けて“I want to ～, too.”等，話し手の話題に関連した理由を伝えることとする。

２点目は，語順の大切さを実感できる指導をする。使われる語は同じだが，語順が変われば意味が異なる例を示して，語順に意味があることに気付かせる。また，ゲーム感覚で楽しみながら単語カードを正しい順に並べ替える活動を仕組み，日本語との違いにも目を向けさせる。自分たちが並べ変えたカードを見ながら，自分の伝えたいことを書き写したり，選んで書いたりすることでより語順の大切さに焦点を当てた書く活動にする。

２　単元目標

【コ】話し手に配慮しながら肯定的感想を伝えようとする。

【慣】地域の良さや地域に対する自分の願いなどを伝え合う表現に慣れ親しむ。
　　例文を参考に，語順を意識して地域を紹介する手紙を書く。

【気】主語の違いや施設に関する英語表現の特徴に気付く。

３　単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
話し手の話題に応じ，理由をもって肯定的感想を伝えようとしている。	①地域にあるものとそこでできること，地域にはないがあってほしいものについて，事実や自分の考えを伝え合っている。 ②例文を参考に語順に気を付け，地域を紹介する手紙を書いている。	We の意味や使い方，施設に関する英語表現の特徴に気付いている。

４　単元ゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	２学期から竹原市に赴任された ALT に，児童が考える吉名地域の良さや地域に対する願いを手紙で伝える。また，ALT の生まれた町などについても質問を書いて返事を待つ。
話すこと［やり取り］ ※友達との会話	A: Yoshina is nice. 　We have Kokai Shrine. 　We can learn about Yoshina. 　It’s interesting. B: Sounds good.　Do you like history? A: Yes, I do.　What do you want in Yoshina? A: We don’t have a history museum. 　I want a history museum. B: Oh, your idea is great! 　I want to go to a history museum. A: Thank you.
書くこと ※色付き部分は児童によって異なる	Yoshina is nice. We have Kokai Shrine. We can learn about Yoshina. We don’t have a history museum. I want a history museum. What do you have in your town?

5　言語材料（下線は新出表現，語彙）

主な表現	主な語彙
Yoshina is ~. We have/don't have a~. We can enjoy/see/buy/eat/learn/play~. But we don't have a~. So I want a~. Your idea is ~. I want a ~, too. I like ~. What do you have in ~?　What do you want in ~?	地域にある施設 shrine, temple, sea, park, mountain, island, pond, river, convenience store, Yoshina elementary school, station 地域にない施設 amusement park, aquarium, swimming pool, stadium, library, department store, hospital, museum 感想 nice, fun, interesting, great, beautiful, good, exciting その他 nature

6　単元計画（全８時間）

時	目標（◆），主なやり取り等	【評価規準】・（評価方法）
1	◆主語の違いや施設に関する英語表現の特徴に気付く。 〇広島県にあるものとないものについて，写真を参考にしながら聞く。We have/don't have ～.の音声とその意味に気付く。 〇音声を聞いてどの町のことを話しているかを聞く。 Let's Listen 1　p26・27 〇誌面にある 6 つの町の絵から，自分が住みたいと思う町を 1 つ選んで伝え合う。　Let's　Play 1　p26・27 〇竹原市に新しく来られた ALT のビデオメッセージを見せ，本単元のゴールを共有する。 Ben 先生に手紙を書こう「吉名の良さと私の願い」 〇施設等に関する英語表現を知る。p28	【気】 ・We の意味や使い方，施設に関する英語表現の特徴に気付いている。 （行動観察・振り返りシート）
2	◆地域の良さ（地域にあるものとできること）について伝え合う表現に慣れ親しむ。 〇キーワードゲームで施設に関する表現を聞いたり言ったりする。 〇地域にあるものとできることについて音声を聞く。 Let's Listen3　p29 〇吉名にあるものとそこでできることについて話す。 T1 と T2→T1 と S→S1 と S2 〇質問を入れて再度話す。 目指す発話例	【慣①】 ・地域にあるものとそこでできることについて，事実や自分の考えを伝え合っている。 （行動観察・振り返りシート）

	A: Yoshina is nice. We have Kokai Shrine. We can learn about Yoshina. It's interesting. B: Sounds good!　Do you like history? A: Yes, I do. B: We have an Okonomiyaki Restaurant.	
3	◆地域に対する願い（地域にないけれど欲しいもの）について伝え合う表現に慣れ親しむ。 〇Small Talk（地域の良さ） 〇デモンストレーションを見て，教師の地域に対する願いを聞き取る。 〇地域にあれば住民のためになるものという視点で，地域にないけれど欲しい物について話す。 目指す発話例 A: We don't have a history museum. I want a history museum. B: Oh, your idea is great! A: What do you want in Yoshina?	【慣①】 ・地域にはないがあってほしものについて，事実や自分の考えを伝え合っている。 （行動観察・振り返りシート）
4	◆話し手に配慮しながら肯定的感想を伝えようとする。 ◆地域にあるものとできることについて，例文を参考に語順を意識して手紙を書く。 〇Small Talk（地域に対する願い） 〇デモンストレーションを見て，感想に理由をつけてやり取りしていることに気付き，試す。 〇地域の良さと願いについて伝え合うとともに，話し手の話題に応じて肯定的感想を伝える。 〇ワードオーダーゲームを通して，単語カードを並べ替える。 〇地域にあるものとできることについて，例を参考に伝えたいことを書き写す。 目指す発話例	【コ】 ・話し手の話題に応じ，理由をもって肯定的感想を伝えようとしている。 （行動観察・振り返りシート） 【慣②】 ・地域にあるものとできることについて，例文を参考に語順を意識して手紙を書いている。 （手紙）

	A: Yoshina is nice. We have Kokai Shrine. We can learn about Yoshina. It's interesting. B: Sounds good.　Do you like history? A: Yes, I do.　What do you want in Yoshina? A: We don't have a history museum. I want a history museum. B: Oh, your idea is great! I want to go to a history museum. A: Thank you.	
5 本 時	◆地域にないけれど欲しいものについて，例文を参考に語順を意識して手紙を書く。 〇Small Talk（地域の良さと願い） 〇デモンストレーションから語順による意味の違いに気付く。 〇ワードオーダーゲームで音声をもとにカードを並べ替え，日本語との違いに気付く。 〇並べ替えたカードをもとに，自分の伝えたいことに合わせて手紙を書く。 目指す発話例　第４時と同じ	【慣②】 ・地域にないけれど欲しいものについて，例を参考に語順を意識して手紙を書いている。 （手紙・振り返りシート）
6	◆ALT に質問したいことについて，例文を参考に語順を意識して手紙を完成させる。 〇伝えたいことだけでなく，ALT に尋ねたいことについて考える。 〇相手を ALT 役とし，質問を入れてやり取りする。 〇ワードオーダーゲームで音声をもとにカードを並べ替え，疑問文になった時の語順を意識する。 〇例を参考に質問を書き，手紙を完成させる。 〇単元でついた力を振り返り，今後生かせることについて交流する。 第６時の後，ALT に手紙を渡す。１人ずつ手紙の質問に返事をいただき，児童に渡す。	【慣②】 ・ALT に質問したいことについて，例文を参考に語順を意識して手紙を書いている。 （手紙・振り返りシート）

7　本時の計画（５／６時）

（１）目標

地域にないけれど欲しいものについて，例を参考に語順を意識して手紙を書く。

（２）評価規準

・地域にないけれど欲しいものについて，例を参考に語順を意識して手紙を書いている。【慣②】

（３）準備物

電子黒板，掲示用表現カード，並べ替え用単語カード（大・小），手紙・振り返りシート

（４）展開

学習活動	指導上の留意事項と使用英語例			評価規準・評価方法
	T1	T2	ALT	
1　挨拶をする。				
2　Small Talk （地域の良さと願い） 8分	○ALT の話に反応しながら感想を伝える。また児童も巻き込んで話す。		○ALT が考える吉名の良さと願いについて話す。	
3　語順によって意味が異なって伝わる場合があることに気付く。 7分	○T2 が間違えて伝えた語順で単語カードを貼る。 ○ALT の発話をヒントに児童が分かれば正しい語順で並べ替えさせる。 ○語順によって意味が異なることに気付かせる。	○児童どうしのやり取りの後，T2 が考える吉名の良さと願いについて話す。	○T2 が伝えた語順では正しく意味が伝わらないことを演技しながら児童に示す。	
【めあての確認】	単語の順番に気を付けて，手紙の続きを書こう。			
4　T2 が伝えたいことが分かる写真を見ながら，その写真の意味に合うように単語カードを並べ替える。 15分	○まずは写真を見せながら，後でキーワードになるものについて質問する。	○後で全体で共有できるように，児童の間違えている部分に着目して様子を見る。	○文字の読み方が分からない児童には，初めの文字の音をヒントに推測させる。	

誤　Kokai Shrine in Yoshina is famous.
吉名の光海神社は有名です。
正　Kokai Shrine is famous in Yoshina.
吉名では光海神社は有名です。

写真　We have Mazda Stadium in Hiroshima.
We can watch baseball games.

写真　We don't have a Ferries wheel.
I want a Ferries wheel.

5　正しく並べ替えたカードを見て後半２文を書き写し，自分が伝えたいことに合わせて適切な言葉を選んで書く。 10 分	○全体で声に出して読んだ後に，気づきを交流する。 ○誰のために書くのかを再確認してから書かせる。	○早くできたペアは，声に出して読ませる。 ○語順以外にもスペースや語のまとまり等で間違いの多い点を全体で示す。 自分で見直しができるようにする。	○児童が伝えたい言葉がワードリストにない場合は別紙に書いて渡す。	・地域にないけれど欲しいものについて，例を参考に語順を意識して手紙を書いている。【慣②】
6　本時を振り返る。 5 分	○書き方について意識できたことや友だちの願いを知って思ったことを交流する。			

7　板書例

～Ben 先生に手紙を書こう「吉名の良さと私の願い」～

めあて　単語を並べる順番を考えて，手紙の続きを書こう。

Ben 先生の写真

正　Kokai Shrine is famous in Yoshina.
吉名では光海神社は有名です。
誤　Kokai Shrine in Yoshina is famous.
吉名の光海神社は有名です。

※　単語の順番によって意味がちがってくる

写真　We have Mazda Stadium in Hiroshima.

写真　We can watch baseball games.

写真　We don't have a Ferries wheel.

写真　I want a Ferries wheel.

「書く時に気を付けること」　※ We や I は必ず文のはじめ　※日本語と順番が違う

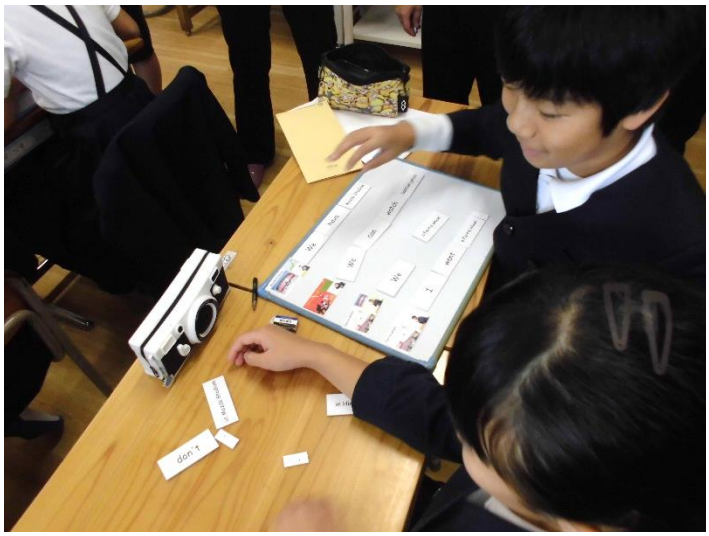
・１つの単語はつめて書く。　Yo shi n a → Yoshina

・単語と単語の間は１文字分ほどのスペースをあける。

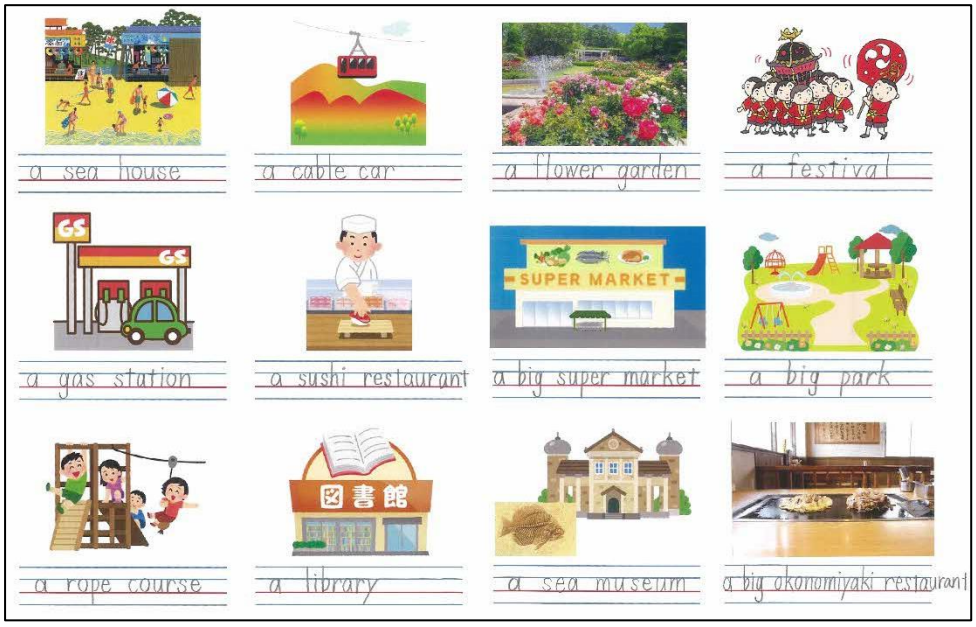
Wedon't　havea　park. → We don't have a park.

・文の終りにはピリオドをうつ。I want a park.

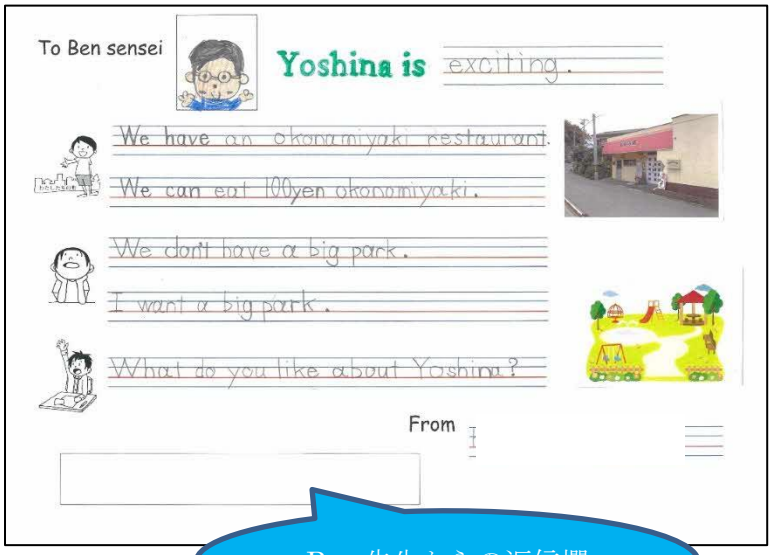
○授業の様子（写真から紹介内容をつかむ→写真に合うように，ペアでカードを並べ替える）



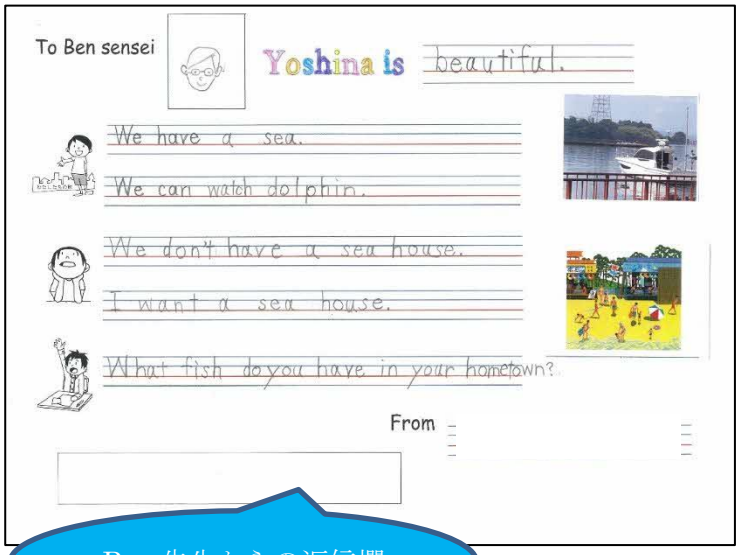
○吉名にないもの（欲しいもの）Word List



○児童が作成した ALT への手紙



Ben 先生からの返信欄



Ben 先生からの返信欄